

レザーコンテナ

ウ イ ン グ
新 WING

取扱説明書
WB130T



エコノ・ホースタイプをご使用になる前に

- 当社製品を安全かつ正しく快適にお使いいただくために、必ず本取扱説明書をお読み下さい。誤った使用方法是事故をひきおこす恐れがあります。
- お読みになったあとも必ず、製品と共に保管して下さい。
- 本製品を貸与または譲渡なさる場合は、この取扱説明書を必ず添付してお渡し下さい。
- この取扱説明書を紛失または損傷された場合は、すみやかに販売店にご注文下さい。
- なお、本製品は安全対策や、機能向上のため使用部品の一部変更を行う場合があります。このためイラストなどの一部が本製品と一致しないことがありますのであらかじめご了承下さい。
- また、ご不明の点やお気づきのことがございましたら、お買い上げ頂きました販売店、農協などにご相談下さい。



印付きの下記マークは、安全上、お客様にかかわる重要な項目です。必ず、お守り下さい。



危険

その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。



警告

その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。



注意

その警告文に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを示します。



株式会社 たいしよー

TAISHO

■ 安全に作業をするために

 **注意** トラックへの積み込み、積み下ろしは平らな場所で行う。

【守らないと】
事故を起こす恐れがあります。

 **注意** コンテナはトラックに固定する。
コンテナのフック（4ヶ所）とトラックの荷台を、ロープなどで確実に固定して下さい。

【守らないと】
荷台からコンテナが転落したりして、事故を起こす恐れがあります。

 **注意** 積載重量は使用するトラックについての道路交通法の制限を守る。

【守らないと】
道路交通法違反になります。

 **注意** 電源プラグを差し込む前に本体スイッチが「OFF」になっていることを必ず確認する。

【守らないと】
機械が急に動き出したりして、ケガをする恐れがあります。

 **注意** 急発進・急ハンドルを避け、慎重に運転する。

【守らないと】
転倒したりして、事故を起こす恐れがあります。

 **注意** コンテナ運転中はその場から離れない。

【守らないと】
緊急時の対応が遅れ、事故や機械の破損を引き起こす恐れがあります。

 **注意** 丸頭ピンにRピンを確実に差し込む。

【守らないと】
柱、梁等がはずれて、事故を起こす恐れがあります。

 **注意** 組み立て後は必ずプレスを柱にかける。（P 3 柱、プレスのセット参照）

【守らないと】
本体が倒れたりして、事故を起こす恐れがあります。

 **注意** ホースが本体に差し込んであるときは、ホースの排出口に手などを入れない。

【守らないと】
機械に巻き込まれたりして、ケガをする恐れがあります。



注意 コンテナ運転中にモーター回転部を触らない。

【守らないと】

機械に巻き込まれたりして、ケガをする恐れがあります。



注意 コンテナ運転中や停止直後は、モーターに手などを触れない。

【守らないと】

モーター本体が熱くなっており、ヤケドをする恐れがあります。



注意 保守・点検時は必ず電源プラグを抜く。

【守らないと】

機械が急に動き出したりして、ケガをする恐れがあります。



注意 コンテナを宙吊りにして保管しない。

コンテナを保管する時は、平らな所に転倒しない状態で置いて下さい。
決して宙吊りでの保管はしないで下さい。

【守らないと】

落下事故などにより、ケガや下の物を壊す恐れがあります。

■ 使用上の注意

- (1) 試運転の時、または粃の排出が完了した時は1分以上 空運転させないで下さい。
空運転を続けると ホースが破ける 恐れがあります。
- (2) 湿った粃がいきなりホースに入ってくると、サーマルスイッチの働きにより、
モーターが停止する場合があります。
- (3) シャッターを閉めた場合、レバーを確実に差し込んで下さい。
- (4) ジョイントボックス(首振り部)は、排出作業時以外はロックして下さい。

※ロック解除状態からのロックの仕方

- ①ジョイントボックス側面のロック用ストッパー金具を回す。
- ②本体の穴に差し込む。(図1 参照)

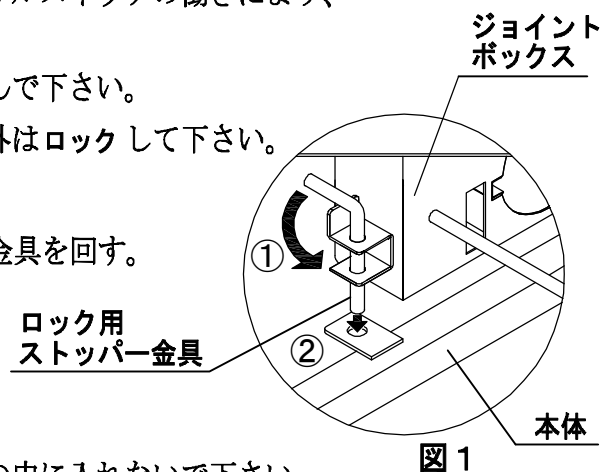


図1

- (5) 誤ってひもやなわ等、穀物以外のものをホッパーの中に入れないで下さい。
- (6) モーターやスイッチ類には 雨や水がかからないようにして下さい。
- (7) 電源は必ず専用コンセントからとって下さい。
(延長コードを使用する場合は、太さが2mm²以上で長さは30m以下でご使用下さい。
また、タコ足配線やコードを巻いたままでのご使用は、機械の故障の原因となります。)
- (8) 使用後は、きれいに掃除をして日の当たらない屋内で保管して下さい。

■ 組立手順

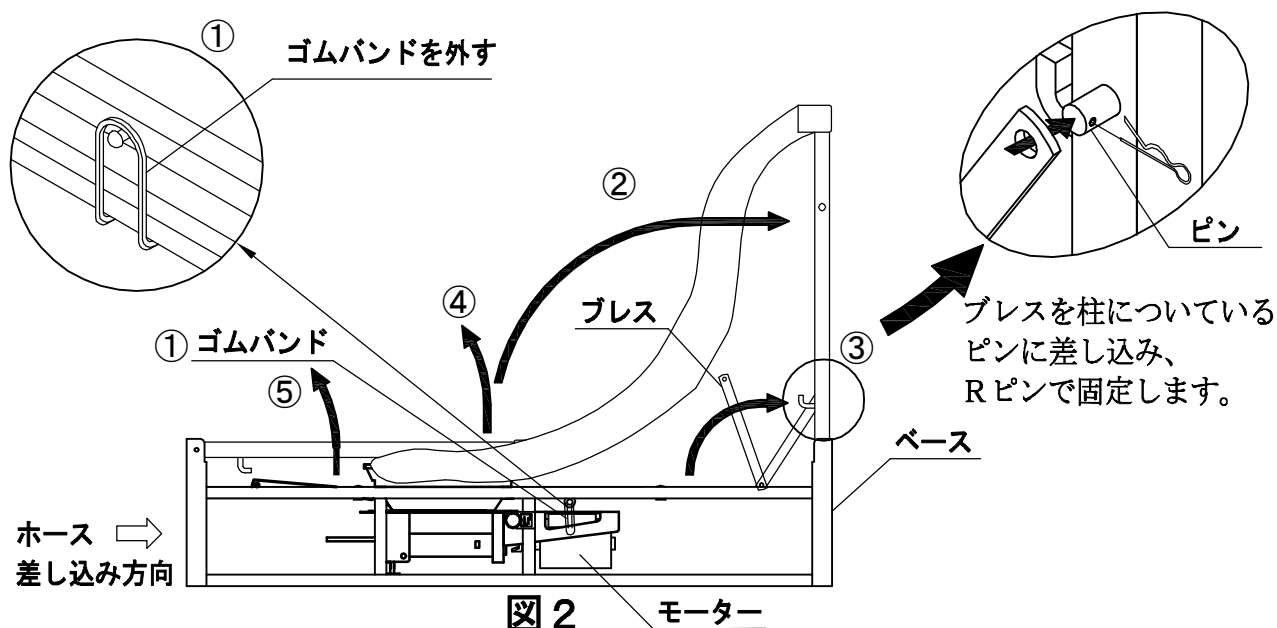
(1) 柱、ブレスのセット

- ① 柱に掛かっているゴムバンドを外します。(2箇所)(図2-①参照)
- ② 柱を起し、ブレスを柱のピンに差し込み、Rピンを取りつけます。(図2-②③参照)

機体中央側から作業を行うと簡単に組み立てる事ができます。

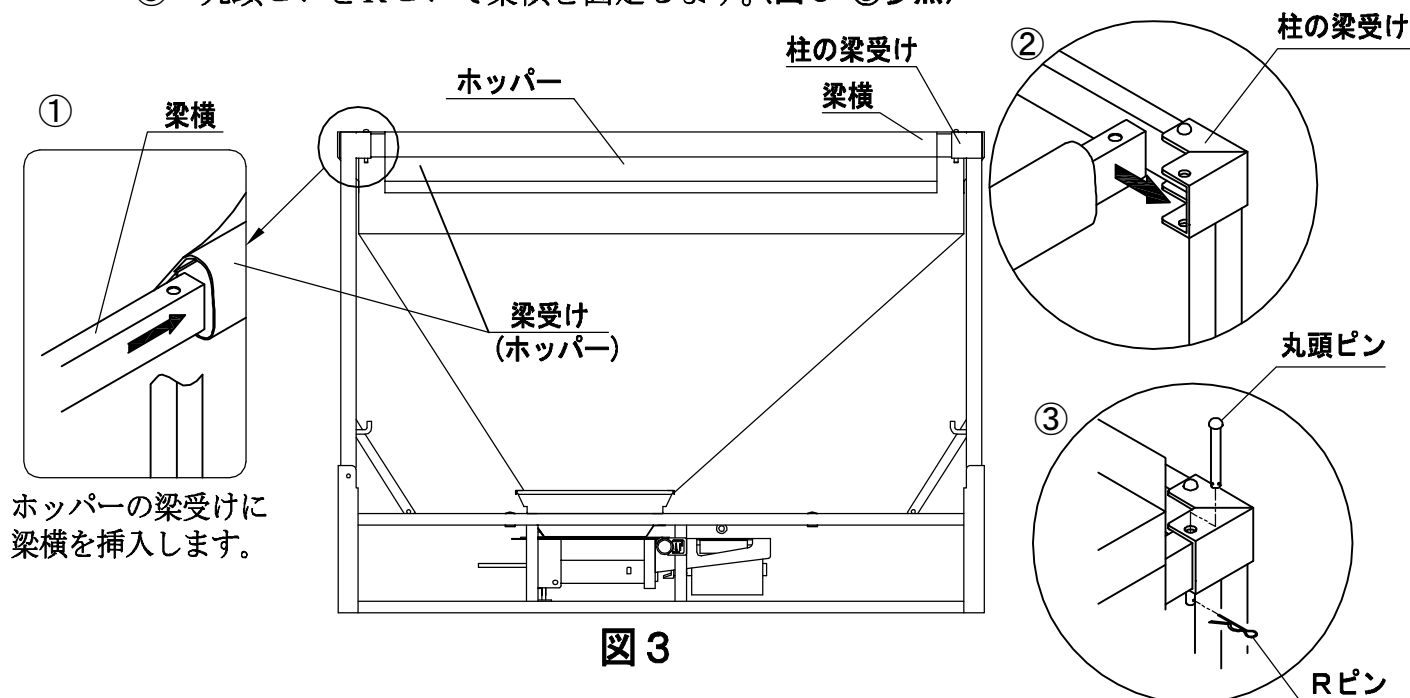
※注意 ・ ブレスをしっかりとピンに差し込み、Rピンをしている事を確認してください。
・ ブレスのセットは、柱が倒れてくると危険ですので、必ず柱を支えながら行ってください。

- ③ 同様にして反対側の柱もセットします。(図2-④⑤参照)



(2) 梁のセット

- ① 梁横をホッパーに差込みます。(2本)(図3-①参照)
- ② 梁横を柱の梁受けにセットします。(図3-②参照)
- ③ 丸頭ピンとRピンで梁横を固定します。(図3-③参照)



■ 排出手順

※ スイッチがOFFになっていることを確認する。

- ① ホースを差し込む。
- ② 電源コンセントを差し込む。
- ③ スイッチをONにする。
- ④ シャッターを適度にあける。
糞が排出されます。（空運転に注意）

※ サーマルが働き、モーターが止まった場合は、過負荷の原因を取り除いた後、2～3分後に再起動させて下さい。

- ⑤ 排出終了後、スイッチをOFFにする。
- ⑥ シャッターを閉めレバーを入れる。
- ⑦ 電源コンセントを外す。
- ⑧ ホースを外す。

■ 折りたたみ方法

組立と逆の手順を行うことで折りたたむことができます。

- ① 梁横を外します。（梁横は、無くさないように様に本体と一緒に保管してください。）
- ② プレスを外し、ホース差し込み側の柱から倒します。
（プレスは、プレス固定にはめ込みます。）
- ③ ホッパーをつけた状態でたたむ時はホッパーを内側に入れるようにして下さい。
- ④ ゴムバンドを柱のピンに掛けて、倒れ防止にします。（図4-④参照）

※注意 ・ ゴムバンドを掛ける柱が上に来るようにしないと、柱が倒れてくるので危険です。

※注意 ・ プレスの解除は、柱が倒れてくると危険ですので、必ず柱を支えながら行ってください。

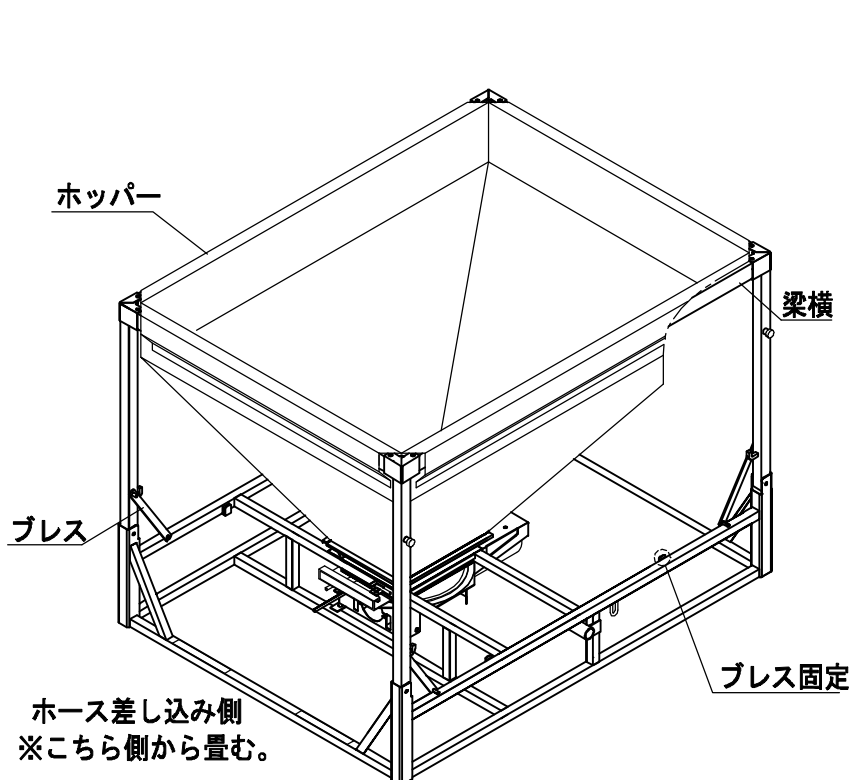
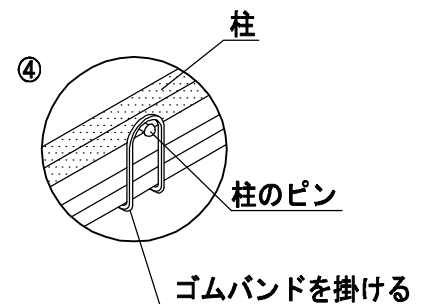
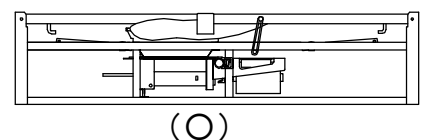


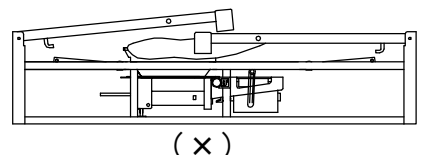
図 4



・ 畳む順番が正しい場合



・ 畳む順番が誤りの場合



※柱がしっかり固定されないため危ない

■ ホッパーの外し方

ホッパーの清掃、補修等でホッパーを外す際は以下の手順で行ってください。

- ① 各梁を外します。（梁前、後）
- ② 蝶ネジボルトを外します。
- ③ ホッパー金具を本体より外します。

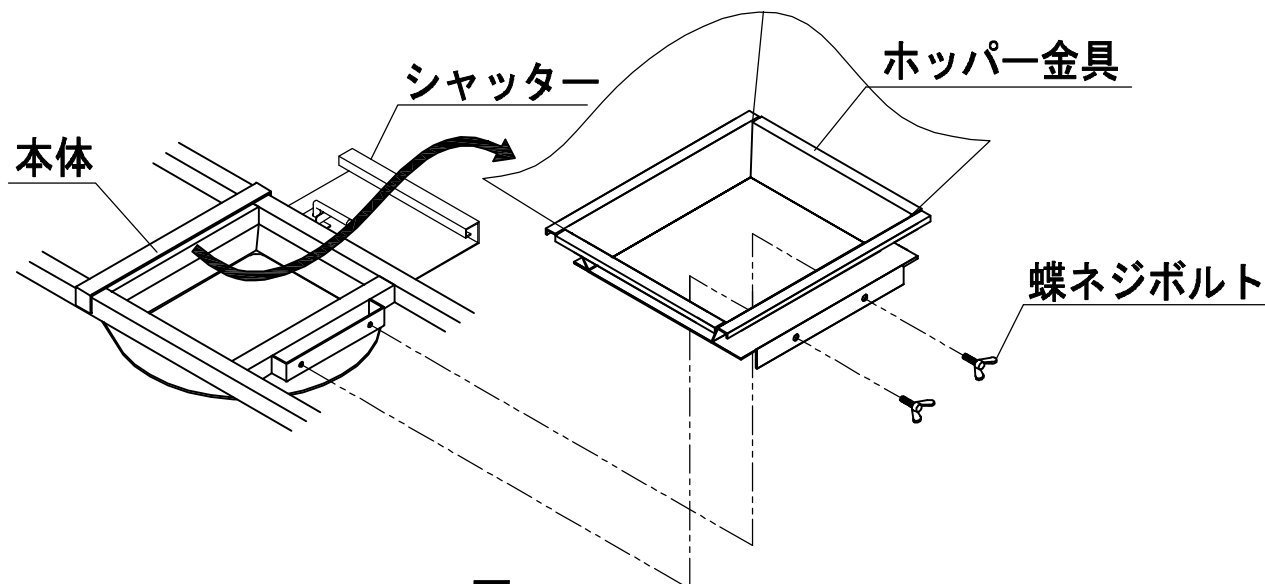
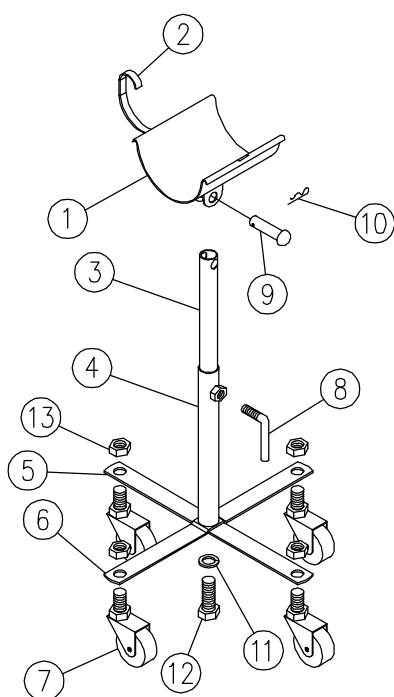


図 5

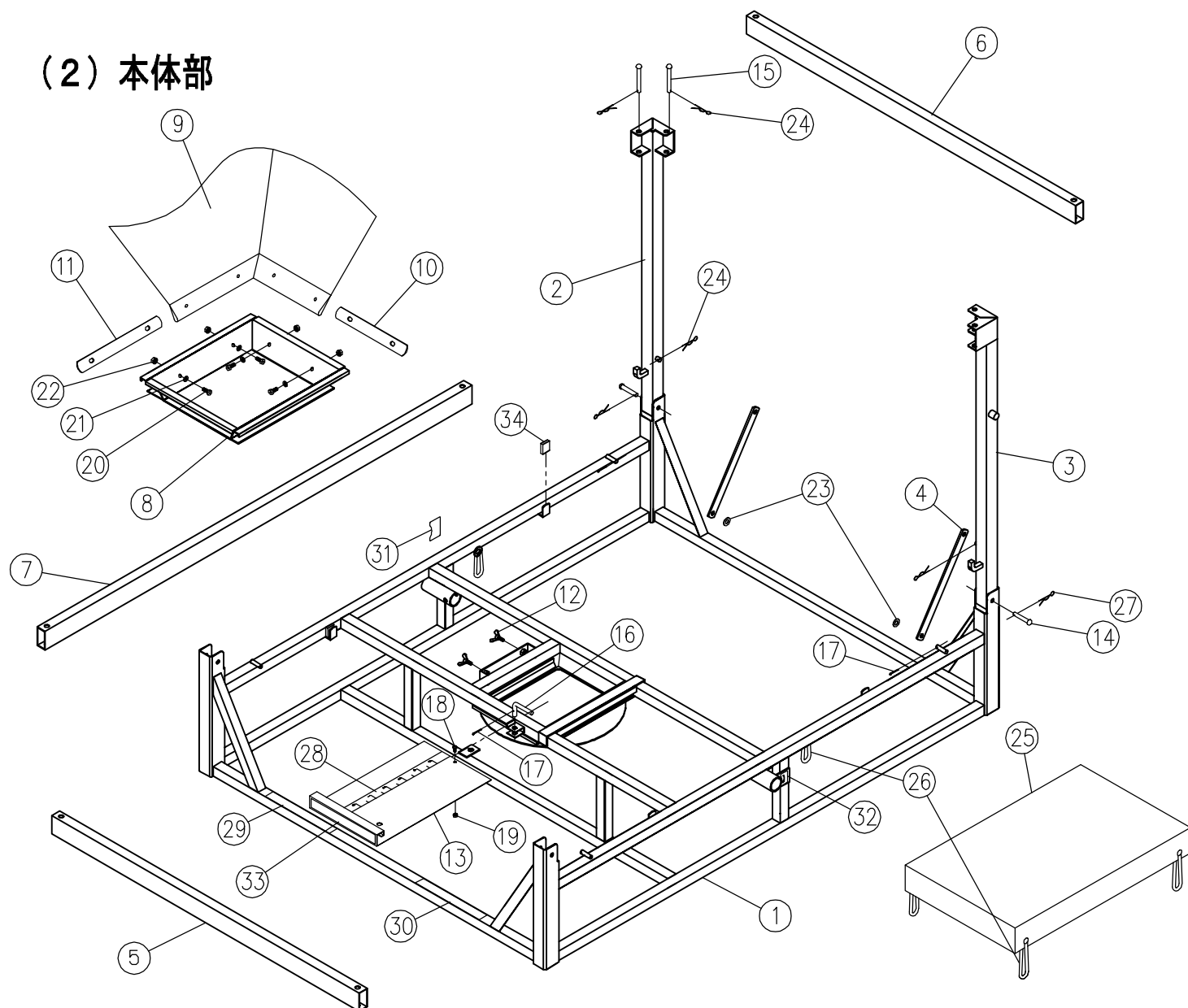
■ 分解図

（１）ホーススタンド部



No	部 品 名	数 量
1	保護カバー	1
2	ゴムバンド	1
3	支柱パイプ	1
4	スタンドパイプ	1
5	脚 A	1
6	脚 B	1
7	キャスター(車輪φ40)	4
8	Lボルト (M10)	1
9	丸頭ピン(φ8×45)	1
10	Rピン(φ8用)	1
11	バネ座(M12用)	1
12	六角ボルト(M12×30)	1
13	六角ナット(M12P1.25)	4

(2) 本体部



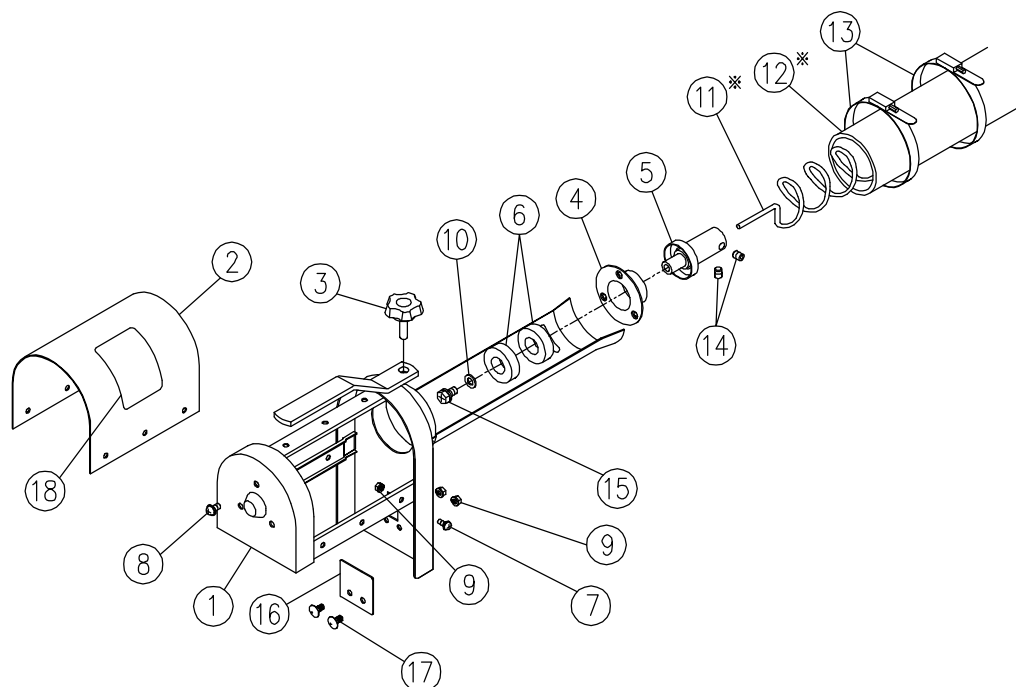
No	部 品 名	数 量	No	部 品 名	数 量	No	部 品 名	数 量
1	ベース	1	16	レバー	1	31	回転方向シールA	1
2	柱1	2	17	割ピン (φ2.5×20)	5	32	回転方向シールB	1
3	柱2	2	18	六角ボルト (M6×10)	1	33	シャッター注意シール	1
4	プレス (WB用)	4	19	六角ナット (M6 SW付)	1	34	プレス固定スポンジ	4
5	梁前	1	20	六角ボルト (M8×20)	8	35	取扱説明書	1
6	梁後ろ	1	21	平座 (M8)	8			
7	梁横	2	22	六角ナット (M8 SW付)	8			
8	ホッパー金具	1	23	平座 (M10)	4			
9	ホッパー	1	24	Rピン (φ10用 Bタイプ)	12			
10	ホッパーおさえ板A	2	25	雨よけシート	1			
11	ホッパーおさえ板B	2	26	引掛けゴム (WB・UM用)	6			
12	蝶ネジボルト (M8×15)	2	27	ヌケドメピン (φ10用)	4			
13	シャッター	1	28	目盛りシール	1			
14	丸頭ピン (柱下用)	4	29	型式シール	1			
15	丸頭ピン (梁用)	8	30	注意シール	1			

記: ボルト、ナット、ネジ類は汎用品を使用しておりますので、市販品でも代替できます。

(3) ホース部

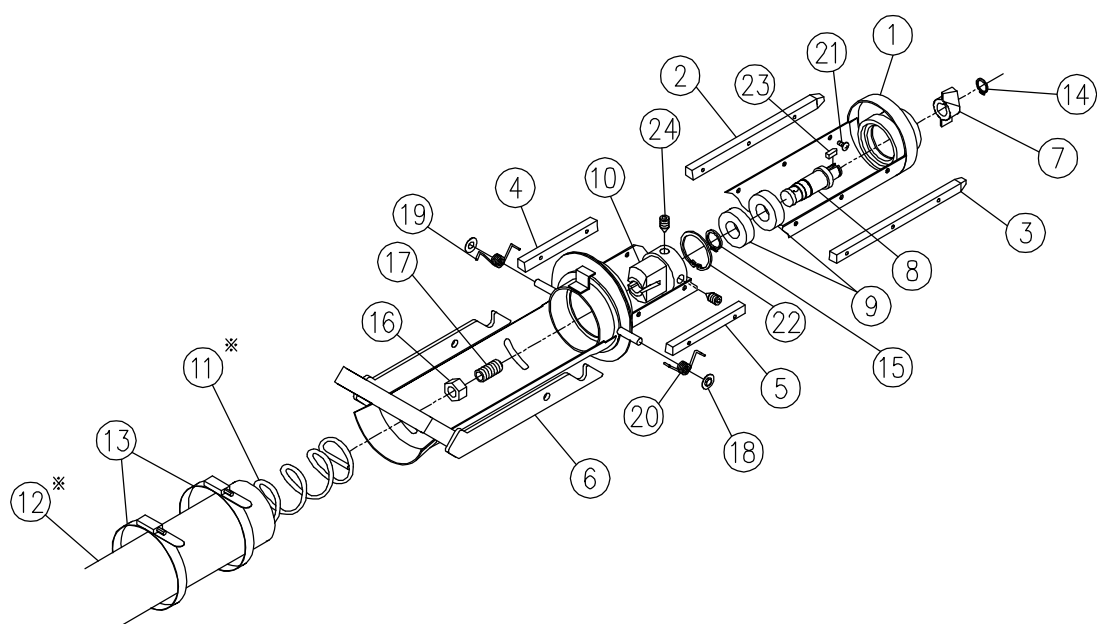
排出口

(H20M2、H30M2、H40M2)



インナーローター

(H20M2、H30M2、H40M2)



排出口部品表 (H20M2、H30M2、H40M2)

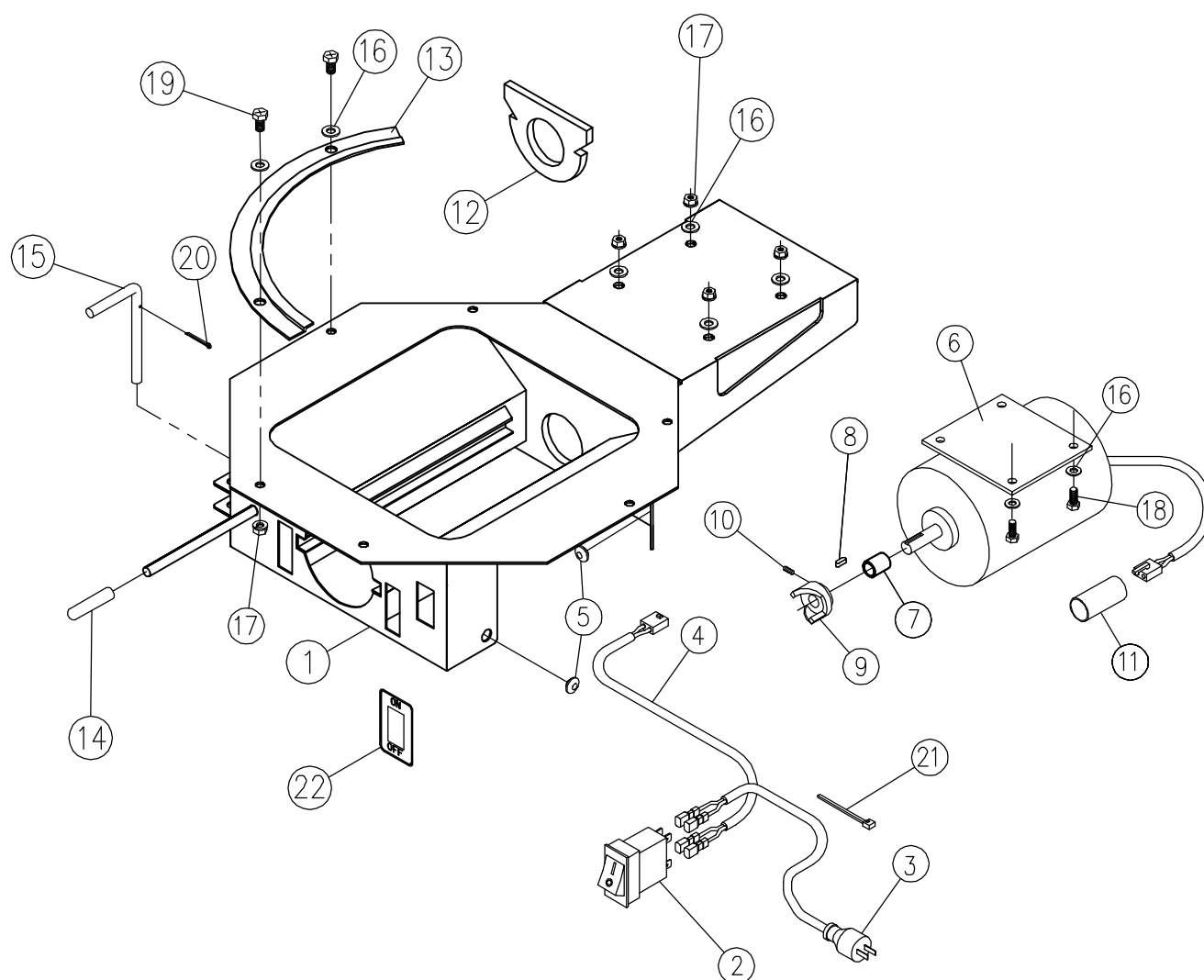
No	部 品 名	数 量	No	部 品 名		数 量
1	排出口	1	13	ホースバンド(φ80用)		2
2	排出カバー	1	14	セットスクリュー(M8×10)		2
3	ノブボルト(M8×30)	1	15	六角ボルト(M8×15 SW付)		1
4	ベアリング受け	1	16	塞ぎ板		1
5	ソケット軸	1	17	トラス小ネジ(M5×10)		2
6	ベアリング(6202Z)	2	18	注意、型式 シール	TE-64-115-A1 (H20M2)	1
7	ナベビス(M5×12 平座付)	6			TE-64-115-B1 (H30M2)	1
8	ナベビス(M6×12 SW付)	3			TE-64-115-C1 (H40M2)	1
9	六角ナット(M5 SW付)	8				
10	平座(M8用)	1				
11	送りバネ(外径φ55×P45)(※1)	1				
12	ホース(内径φ63×外径φ73)(※1)	1				

インナーロータ部品表 (H20M2、H30M2、H40M2)

No	部 品 名	数 量	No	部 品 名	数 量
1	インナーロータ(φ55用)	1	13	ホースバンド(φ80用)	2
2	ガイドバーA	1	14	ストップリング(S-15)	1
3	ガイドバーB	1	15	ストップリング(S-20)	1
4	ガイドバーD	1	16	六角ナット(M14)	1
5	ガイドバーC	1	17	セットスクリュー(M14×30)	1
6	ホースレバー(小)	1	18	プッシュナット(φ8用)	2
7	クラッチハブ	1	19	スプリングA	1
8	駆動軸	1	20	スプリングB	1
9	ベアリング(6004Z)	2	21	トラスタッピンネジ(M4×12)	10
10	ソケット(φ55用)	1	22	ストップリング(H-42)	1
11	送りバネ(外径φ55×P45)(※1)	1	23	キー(5×5×14)	1
12	ホース(内径φ63×外径φ73)(※1)	1	24	セットスクリューとがり先(M10×15)	2

※1 送りバネ、ホースは各機種により長さが異なります。

(4) ジョイントボックス部



No	部 品 名	数 量	No	部 品 名	数 量
1	ジョイントボックス	1	15	回転止めピン	1
2	サーキットプロテクター	1	16	平座 (M8用)	14
3	電源コード	1	17	六角ナット (M8 SW付)	10
4	モーターコード	1	18	六角ボルト (M8×20)	4
5	ガードブッシュ	2	19	六角ボルト (M8×15)	6
6	モーター 単相 400W	1	20	割ピン (φ2.5×20)	1
7	カラー φ16×25	1	21	インシュロックタイ AB-150	3
8	キー 5×5×15	1	22	電源スイッチシール	1
9	クラッチツメ	1	23		
10	セットスクリュー M5×10	1	24		
11	被覆パイプ2 (φ18×60)	1	25		
12	パッキン	1	26		
13	ジョイントボックスおさえ	3	27		
14	塩ビキャップ	1	28		

■ 仕 様

型 式	WB130T-H20M2	WB130T-H30M2	WB130T-H40M2
全 長	1, 7 1 0 mm		
全 幅	1, 3 1 6 mm		
全 高	1, 2 7 0 mm		
容 量	1 3 0 0 リットル		
重 量	7 0 k g		
モーター	単相 1 0 0 V 4 0 0 W		
ホース長 (有効長)	2 m (1 . 2 m)	3 m (2 . 2 m)	4 m (3 . 2 m)
ホース径	内径 ϕ 6 3 × 外径 ϕ 7 3		
排出能力	最大 5 ～ 6 t / 時 (8 3 ～ 1 0 0 k g / 分)		
首振り角度	約 1 8 0 度		
標準装備	ホーススタンド、雨よけシート		
回転 スタンド (オプション)	L T - 8 0 1		

記：本仕様は、改良のため予告なしに変更することがあります。